

TIA連携大学院プログラム構築のための調査研究

Investigation for the TIA Cooperative Graduate School Program

概要

つくば地区には豊富な教育上のリソースが存在する。本調査研究では、筑波大学を含め、つくば地区の教育上のリソースをTIA連携コースに組み込めるかどうかの可否を判断するための調査を行う。
In this exploratory research, an investigation will be conducted to consider how to use the educational resources in Tsukuba area effectively.

つくば連携による人材育成に向けた取り組み

Development of human resources in Tsukuba area

TIAサマーオープンフェスティバル

- 筑波大学、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、東京大学が参加
- 1機関だけでは提供できない実習を含む多様な講義を実施
- 平成29年度は7/24～9/8の期間開催

TIA人材育成MGの活動

- 筑波大学、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、東京大学の委員が人材育成に向けた方策について議論

筑波大学の人材育成

Human recourse development in University of Tsukuba

つくば共鳴教育プログラム（オナズプログラム）

- 文部科学省の補助により数理物質科学研究科で進めてきた「つくばナノテク拠点産学連携人材育成プログラム」の後継プログラムとして、平成27年度からスタート
- 年間3～4名／年を欧米の大学に派遣
- 平成28年度はグルノーブル・アルプス大学、ハーバード大学、オーフス大学に派遣

グルノーブル・アルプス大学とのダブルディグリープログラム

- 平成27年度より博士後期課程の学生を対象に実施
- 平成27、28年度、それぞれ2名を派遣、1名を受け入れ

講演会開催

Seminar on human resource development

豊橋技術科学大学の人材育成プログラム講演会

- 平成28年12月9日に豊橋技術科学大学柴崎一郎氏を筑波大学に招き、「豊橋技術科学大学 大学院博士課程 テーラーメイド・バトンゾーン教育プログラム「科学や技術の歴史を創った先輩に学ぶ博士課程リーダー教育の試み」との演題で講演会を開催。TIA人材育成MG委員他約20名が聴講。

海外派遣学生を通じた調査

Investigation through the short-term stay in foreign universities

実施状況

- 筑波大学のオナズプログラムによりグルノーブル・アルプス大学、ハーバード大学、オーフス大学に派遣した学生を通じ、受け入れ機関の人材育成についての情報を得た。

学生報告

- 学生を楽しませる講義：PCやスマートフォンから利用できるクイズやアンケートの利用
- 講義と密接につながった効果的な演習
- 予習重視：予習すべき教科書の範囲や文献が事前に指定され、講義も予習前提
- 毎週金曜日の教員と学生の交流会
- 徹底した安全講習（2週間）：大学や学生一人一人の安全衛生に関する意識が非常に高い
- 周辺の大学との強い連携：装置共用、定期的なワークショップの開催、連携大学院

共用装置の利用による研究の高度化

Advanced researches through sharing of facilities

つくば地区の共用装置の利用

- 文部科学省ナノテクノロジープラットフォームその他の仕組みを利用した他機関の最先端装置の有効利用により、他地域では容易ではない高度な専門教育を実施

TIAサマーオープンフェスティバル内容

- ◆SUMMER LECTURE for Nanoscience / Nanotechnology
- ◆TIAナノエレクトロニクス・ナノテクノロジーサマースクール
- ◆TIAナノグリーン・サマースクール
- ◆MNOIC実習講座
- ◆TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール
- ◆高エネルギー加速器セミナー
- ◆先端計測・分析サマースクール
- ◆人材育成のためのMEMS集中コース
- ◆ナノ加工・計測序論とファンドリー実習



豊橋技術科学大学柴崎一郎先生講演会

